

S I D R

(滋賀県感染症情報)

SHIGA Infectious Diseases Report

〈月報〉
平成 21年 3月
(第10 ~ 13週)

発行年月日 :平成21年(2009年) 4月21日
発行 行 :滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター
電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

全国の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といえます。また、届出により全国または滋賀県で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症 類型	疾 病 名	平成 21年				平成 20年 ¹⁾		感染症 類型	疾 病 名	平成 21年				平成 20年 ¹⁾	
		1～2月		3月		1～12月				1～2月		3月		1～12月	
		滋賀県	全国	滋賀県	全国	滋賀県	全国			滋賀県	全国	滋賀県	全国	滋賀県	全国
一類	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	四類	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0		日本紅斑熱	0	2	0	2	0	132
	痘そう	0	0	0	0	0	0		日本脳炎	0	0	0	0	0	3
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0		ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0		Bウイルス病	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0		鼻疽	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0		ブルセラ症	0	0	0	0	0	4
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	2	ベネズエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	
	結核	42	3,509	33	2,012	282	28,419	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	発しんチフス	0	0	0	0	0	0	
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	ポツリヌス症	0	0	0	0	0	2	
	鳥インフルエンザ(H5N1) ^(*)	0	0	0	0	0	0	マラリア	0	13	0	3	1	56	
三類	コレラ	0	1	0	1	0	45	野兔病	0	0	0	0	0	5	
	細菌性赤痢	0	23	0	21	23	320	ライム病	0	0	0	0	0	5	
	腸管出血性大腸菌感染症	0	125	0	68	53	4,322	リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	
	腸チフス	0	2	0	4	0	57	リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	
四類	バラチフス	0	0	0	3	0	27	類鼻疽	0	0	0	0	0	0	
	E型肝炎	0	7	0	4	0	43	レジオネラ症	0	107	1	40	10	893	
	ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	レプトスピラ症	0	1	0	0	0	42	
	A型肝炎	0	17	0	6	3	170	ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	
	エキノкокクス症	0	3	0	4	0	22	五類	アメーバ赤痢	0	144	2	71	10	872
	黄熱	0	0	0	0	0	0		ウイルス性肝炎	1	34	0	10	5	241
	オウム病	0	1	0	0	0	9		急性脳炎	0	49	0	16	1	190
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0		クリプトスポリジウム症	0	0	0	2	0	10
	回帰熱	0	0	0	0	0	0		クロイツフェルト・ヤコブ病	0	17	0	8	2	152
	キャサヌル森林病	0	0	0	0	0	0		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	18	0	11	1	113
	Q熱	0	0	0	0	0	3		後天性免疫不全症候群	1	221	1	117	11	1,568
	狂犬病	0	0	0	0	0	0		ジアルジア症	0	8	0	7	1	76
	コクシジオイデス症	0	1	0	0	1	2		髄膜炎菌性髄膜炎	0	3	0	1	0	10
	サル痘	0	0	0	0	0	0		先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0		梅毒	0	112	0	62	5	839
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0		破傷風	0	8	0	5	5	123
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0		バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	16	0	6	0	80
	つつが虫病	0	33	0	2	0	442		風しん	0	28	0	17	2	309
	デング熱	0	15	0	3	2	104		麻しん	0	131	0	58	39	11,015
東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0									
鳥インフルエンザ	0	0	0	0	0	0									

(*) :平成20年5月12日から集計

滋賀県における全数報告感染症の概要 (3月)

<結核>

性別:男性 21名、女性 12名
 類型:患者 29名
 無症状病原体保有者 4名
 病型:肺結核 22名
 その他の結核 11名

<レジオネラ症> 男性 69歳

推定感染経路は不明で、推定感染地域は日本国内です。

<アメーバ赤痢> 男性 59歳、男性 61歳

推定感染経路は2名とも異性間性的接触で、推定感染地域は日本国内です。

<後天性免疫不全症候群>

男性 59歳

病名分類はAIDSで、推定感染経路は異性間性的接触、推定感染地域は日本国内です。

*1感染症発生動向調査事業年報暫定値(国立感染症研究所感染症情報センター) *2検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含む

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のうち、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症を定点把握対象感染症といい、また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります(疾患により定点数は異なります)。また、疾患によりインフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点および基幹定点に分かれています。

3月の概要

<インフルエンザ>

インフルエンザの発生は第8～12週(2/16～3/22)の間はほぼ横ばい状態でしたが、第13週(3/23～3/29)に急減し県全体の定点当たり患者数は6.78となりました。注意報の発令は第2週(1/5～1/11)に、警報の発令は第3週(1/12～1/18)に出されていましたが、注意報および警報ともに発生基準値未満となり第13週に解除されました。

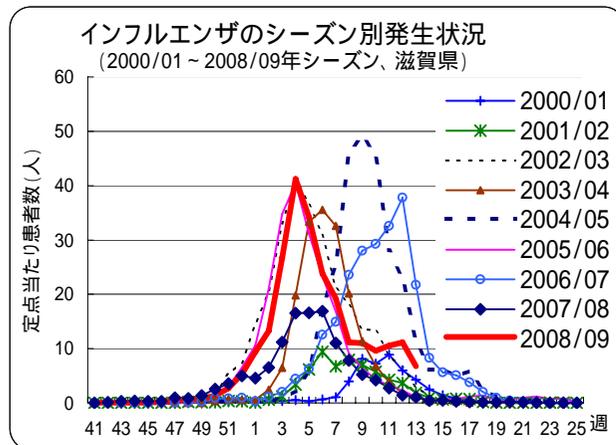
<小児科定点疾患>

先月より増加した疾患は感染性胃腸炎、水痘、百日咳、手足口病等です(他の疾患の発生状況については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。特に手足口病では、第10週(3/2～3/8)に高島で急増し、定点当たり患者数は5.50となり警報開始基準値(5.00)を越えていました。年齢別の発生割合は、～11ヶ月 23.07%、1歳 53.86%、2歳 7.69%および3歳 15.38%でした。また、百日咳では大津、草津および東近江からの報告がありました。

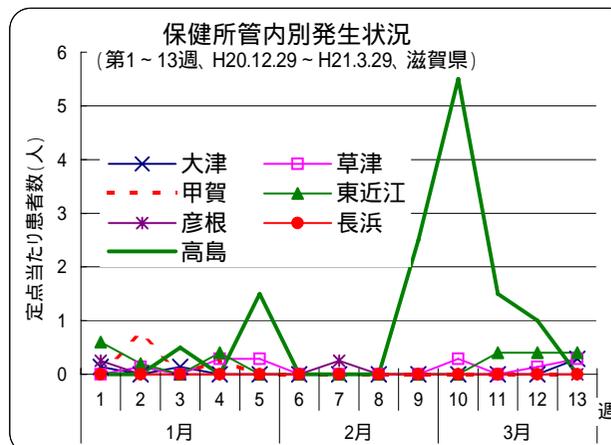
<眼科定点疾患> <基幹定点疾患>

眼科定点疾患である流行性角結膜炎の報告は大津からあり、急性出血性結膜炎の報告はありませんでした。また、基幹定点疾患である無菌性髄膜炎は長浜から、マイコプラズマ肺炎は甲賀から報告されていました。クラミジア肺炎および細菌性髄膜炎の報告はありませんでした。

インフルエンザの発生状況
(平成21年第13週現在)



手足口病の発生状況
(平成21年第1～13週)



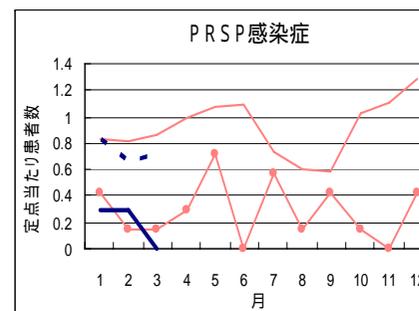
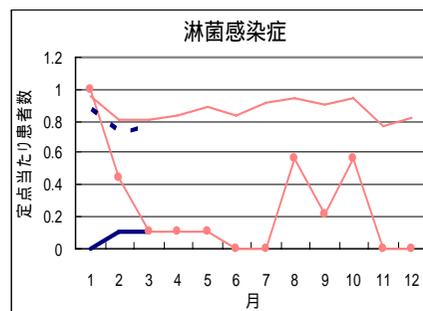
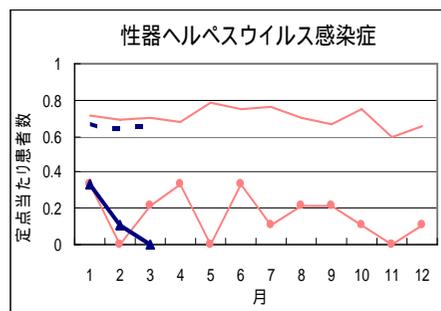
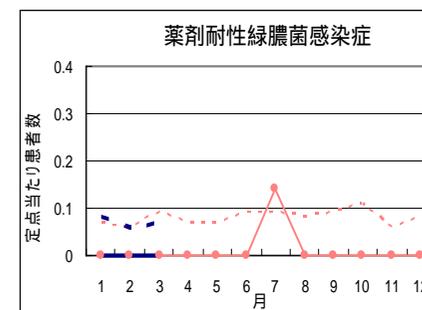
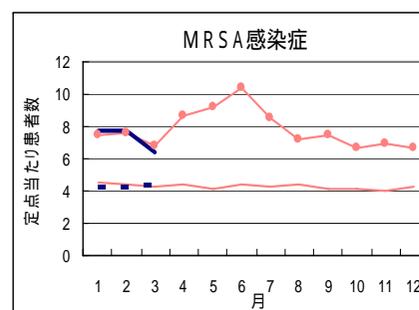
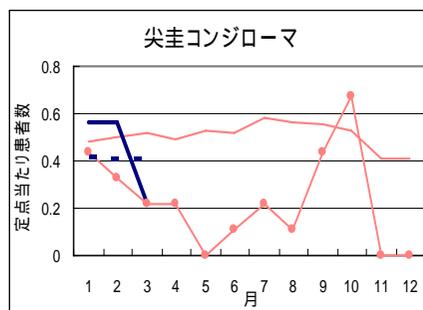
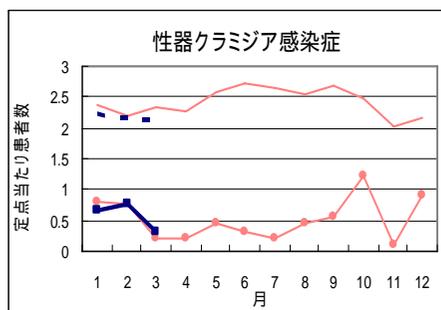
<各定点の対象疾患>

定 点	疾 患 名
インフルエンザ定点	インフルエンザ
小児科定点	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱 A群溶レン菌咽頭炎、水痘 感染性胃腸炎、手足口病 伝染性紅斑(リンゴ病)、百日咳 突発性発しん、ヘルパンギーナ 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)
眼科定点	急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎
基幹定点	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎 マイコプラズマ肺炎 クラミジア肺炎(オウム病を除く)

全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ**(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)において公表されています。

3) 性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況(平成 21年 3月)

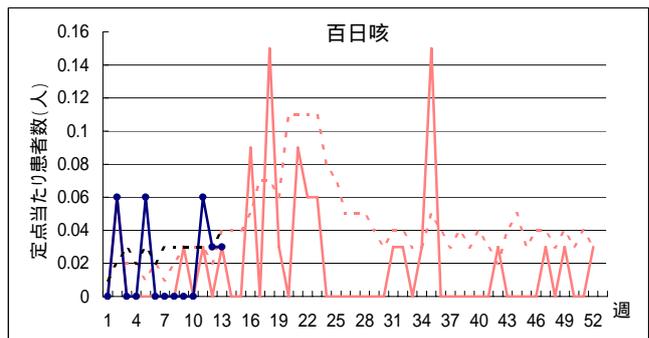
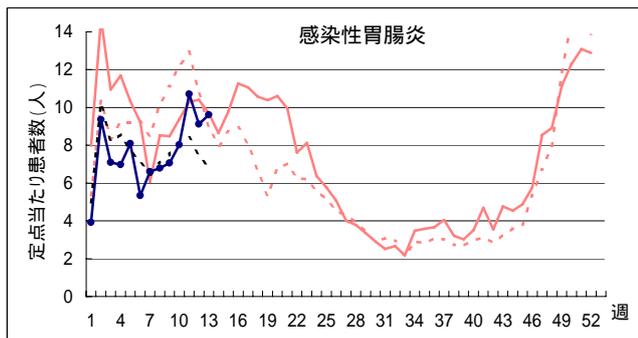
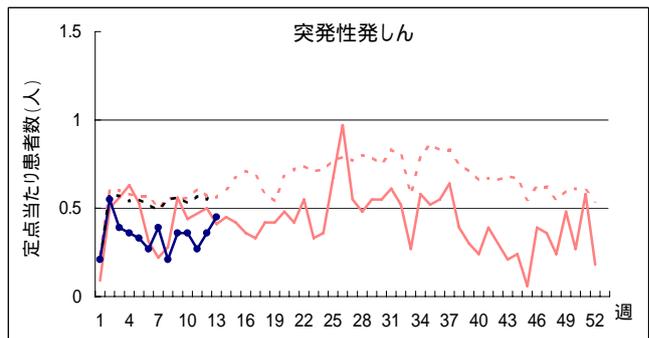
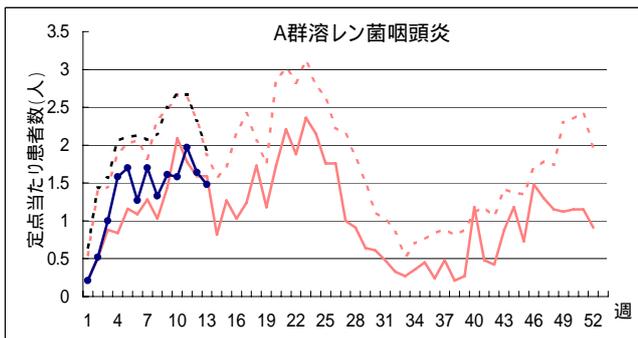
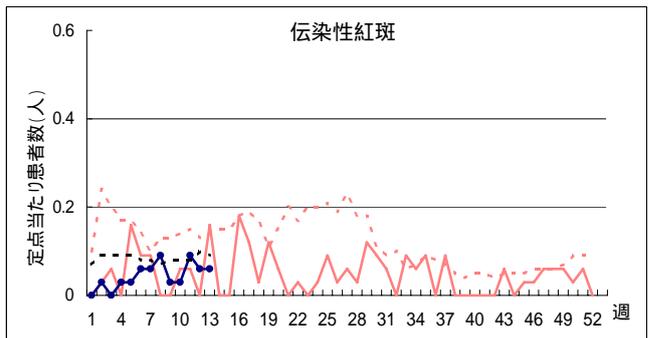
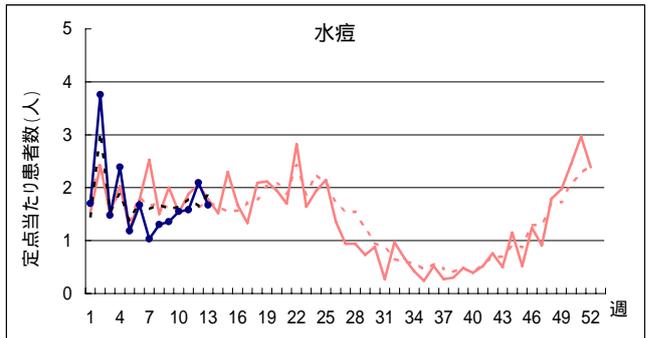
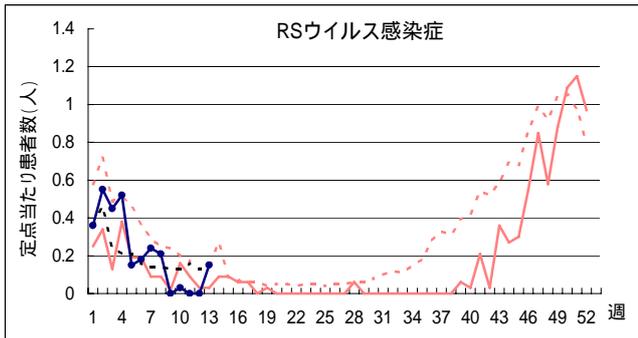
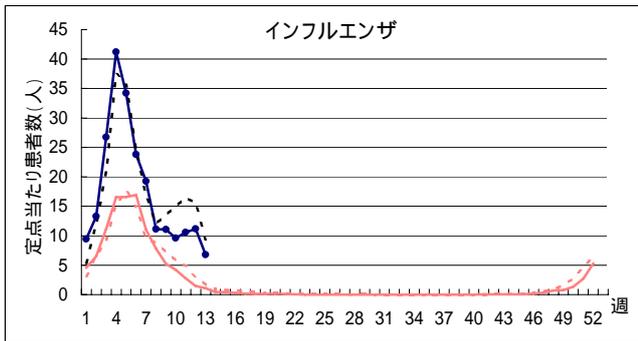
疾患名	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
性器クラミジア感染症	罹患数	6	7	3										16
	定点当たり	0.67	0.78	0.33										1.78
性器ヘルペスウイルス感染症	罹患数	3	1	0										4
	定点当たり	0.33	0.11	0										0.44
尖圭コンジローマ	罹患数	5	5	2										12
	定点当たり	0.56	0.56	0.22										1.34
淋菌感染症	罹患数	0	1	1										2
	定点当たり	0	0.11	0.11										0
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	罹患数	54	54	45										153
	定点当たり	7.71	7.71	6.43										21.85
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	罹患数	2	2	0										4
	定点当たり	0.29	0.29	0										0.58
薬剤耐性緑膿菌感染症	罹患数	0	0	0										0
	定点当たり	0	0	0										0



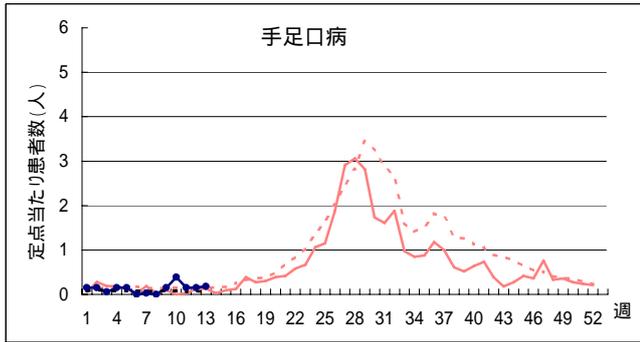
H20 { 滋賀 ●
 全国 ○
 H21 { 滋賀 ●
 全国 ○
 MRSA: メチシリン耐性黄色ブドウ球菌
 PRSP: ペニシリン耐性肺炎球菌

性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況を先月と比較すると、性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、MRSA感染症およびPRSP感染症は減少し、淋菌感染症は横ばいとなっています。また、薬剤耐性緑膿菌感染症の報告はありません。

疾病別定点当たり患者数(平成21年第13週、H19.12.29～H21.3.29)



疾病別定点当たり患者数(平成21年第13週、H19.12.29～H21.3.29)



H20
 { 滋賀 ————
 全国 - - - - -
 H21
 { 滋賀 ●●●●●
 全国 - - - - -

